

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもの広場高畑		
○保護者評価実施期間	2024年12月16日		2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	2024年12月16日		2024年1月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	国際色豊かな利用児がいる為、多様性を身に付けられる	簡単な日本語で会話をする、絵に描くなどして伝える等日本語が苦手でも利用児が過ごしやすいよう環境づくりに努めている。	日本の遊びだけでなく、その国の遊びを教えてもらうなどし交流を深めていく。
2	多機能型事業所の為、卒業後就労継続支援B型に進むことを考えている利用児に対して作業体験が行えるよう体制を整えている	多機能事業所彩樹高畑サテライトと協力し、高校生を対象に週1回作業体験を行っている。	本人・保護者の希望があれば、回数を増やすことや保護者見学、学校で行われる実習を受け入れている。
3	学習・製作・遊びと各職員がそれぞれ得意とする強みを持っており、協力し合いながらチームを作り上げることができている	個別支援計画作成時の担当者会議では、各職員が得意な分野で意見を出すことができるような環境づくり・人間関係づくりに努めている。	自信が持てるよう、支援方法に正解はないことを職員に伝え、各自が考える色々な支援方法に挑戦できる段取りをする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のスペースが狭い 室内イベントは限られた内容となる。	建物の構造上難しい課題ではある。	公園に出掛けるなどして、大きく体を動かす機会を増やしていく。 感染症リスクも高まる為、換気を1時間に1回行うと共に、マスク着用・手洗いうがいを徹底していく。
2	重度の障がい児・ダウン症の子の受け入れが難しい。	職員の人数・体制が整っていない為	非常勤も含め職員の人数を増やすことを検討。研修を重ね、対応できるよう知識を得る。
3	父母の会など実施してない為、保護者同士の交流の場を設けていない。	働いている保護者が多い為、平日は開催することは難しく、土日は家事等で多忙という情報がある。	集まることができる保護者だけでも年に一度は父母の会を開催していくことを今後検討していく。